神のことばを語り続けよ

2026.11.４
聖書に学ぶ A-5
使徒の働き 5:12～42

使徒たちはご聖霊によって、素晴らしい奇跡を行い、キリストは今も生きておられると証ししましたが、奇跡を見た者全てが信じたのではありません。好意をもっても信じない者、後々信じる者、敵対心を持つ者もいました。私たちの周りはどうでしょうか。

ご聖霊はどのような状況でも、私たちがいつも福音を述べ伝える事を願っておられます。

今日の学びの要点

福音を宣べ伝えることには、困難が伴う事がありますが、しかし必ず、神様の方法で助けて下さいます。また、神様が何をしようとしておられるかを見極め、悟り、人や自分を考えではなく、神様のみこころを知り、従う者に成らせて頂きましょう。

Ⅰ、牢からの奇跡的な解放（使徒の働き 5:12～26）

1、ソロモンの回廊で、使徒たちは何をしていましたか。(5:12～16)

①心を１つにした使徒たちによって、どのようなことが成されましたか。

◎多くのしるしと奇跡：全部の者が一人残さず癒やされた　(5:12～16)

・エルサレムの大道り… ペテロが通る影にでもかかろうとした。

・その付近の町々から、病人･汚れた霊に苦しんでいる人が集まって来た。

②主を信じて仲間に加わる者はどうでしたか。

・民衆は交わりに入ろうとしませんでした。どういう目で見ていたのでしょうか。
(5:13)

・大祭司とその仲間の者たちは、どういう目で主を信じる者たちを見ていましたか。
(5:17)

Ⅱ、いのちのことばをいつも語る　（使徒の働き 5:19～42）

1、捕らえられた使徒たちに、主の使いは何をしたのでしょうか。
（5:19～21）

①牢の戸を開けた →彼らを連れ出した →翌朝､牢の戸の鍵は掛かっていた
（5:19～23）

②神から遣わされた主の使いは、使徒たちに何と命じましたか。（5:20）

2、主の使いは牢から使徒たちを助けました。そのようなことができるなら、どうして主の使いが癒やしや奇跡を行い、神のことばを人々に語らないのでしょうか。

◎主の使いと人間の違い

主の使い＝神の命令に忠実、決して神に対して的外れではない。…罪がない

人間＝神の命令に従わない、いつも的外れで、罪を犯す罪人。
イエス･キリストの救いが必要で、十字架で赦されたことを感謝できる。

Ⅲ、議会に立たされた使徒たち

1、使徒たちは、議会で権力者たちから尋問されることになりました

①大祭司は使徒たちが、何を企んでいると言っていますか。（5:28）

②5:30～32＝父祖の神は何のために、殺されたイエスをよみがえらせ…
…ご自身の右に上げられたのでしょうか。

③大祭司たちは激しく怒り狂い、使徒たちを殺そうと考えました。
どうして、そこまで思うようになったのでしょうか。（5:33）

・自分たちの命令に従わない

・十字架に架けたイエスが、先祖の神によってよみがえらされた　と言ったこと

2、ガマリエルは使徒たちをほっておきなさいと言っています。
これまで、大祭司たちや議会は、なぜ使徒たちのことをほっておけなかったのでしょうか。（5:29）

・神から出たのか

・人から出たのか